

教科	国語（小）
----	-------

主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けたポイント

(1) ポイント1 「言葉による見方・考え方」を働かせる授業の展開

「言葉に着目する」「言葉を吟味する」授業を展開する。言葉を根拠に、言葉に寄り添った「考えの形成」、
「共有」につなげていく。

(2) ポイント2 「考えの形成」の練り上げ

新学習指導要領から、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」の3領域全ての学習過程に
「考えの形成」が設定されることとなった。児童が理解したり表現したりした言葉を、論理的思考の側面、感
性・情緒の側面、他者とのコミュニケーションの側面からどのように捉えたのかを問い直して、理解し直し
たり表現し直したりしながら思いや考えを深めることが、「深い学び」の実現につながっていく。

(3) ポイント3 「共有」できる場面の設定

「考えの形成」同様、3領域全ての学習過程に「共有」が設定された。これまでの学習過程に位置付けられ
ていた「交流」が「共有」に置き換えられた意図にも目を向けたい。各自が意見を述べ合うだけの形骸化した
話し合い活動からの脱却を図り、他者の考えをしっかりと捉え、思考を深めたり活性化させたりすること
ができる「共有」の場の設定が、「深い学び」の実現につながっていく。

教科	国語（中）
----	-------

主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けたポイント

(1) ポイント1 「言葉による見方・考え方」を働かせる授業の展開

「言葉に着目する」「言葉を吟味する」授業を展開する。言葉を根拠に、言葉に寄り添った「考えの形成」、
「共有」につなげていく。

(2) ポイント2 「考えの形成」の練り上げ

新学習指導要領から、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」の3領域全ての学習過程に
「考えの形成」が設定されることとなった。生徒が理解したり表現したりした言葉を、論理的思考の側面、感
性・情緒の側面、他者とのコミュニケーションの側面からどのように捉えたのかを問い直して、理解し直し
たり表現し直したりしながら思いや考えを深めることが、「深い学び」の実現につながっていく。

(3) ポイント3 「共有」できる場面の設定

「考えの形成」同様、3領域全ての学習過程に「共有」が設定された。これまでの学習過程に位置付けられ
ていた「交流」が「共有」に置き換えられた意図にも目を向けたい。各自が意見を述べ合うだけの形骸化した
話し合い活動からの脱却を図り、他者の考えをしっかりと捉え、思考を深めたり活性化させたりすること
ができる「共有」の場の設定が、「深い学び」の実現につながっていく。

「深い学び」を具現する授業デザイン例 国語（小）

学習指導要領における領域・内容

小学校〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと
 [思考力・判断力・表現力等] (1) ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。
 [知識及び技能] (2) 情報の扱い方に関する事項 イ 比較や分類の仕方を理解し使うこと。

本時のねらい

説明文「こまを楽しむ」に紹介される6つのこまの写真から、つくりの違いを比べる活動を通して、比較するための視点について気付くことができる。

授業デザイン例

学習者の視点

授業者の視点

丸々としたものや平たいものがあるね。

指でつまむ棒がないものがある。

①と⑤のこまは似ている。平らなところが大きい。だけど棒の太さや長さが違うね。

②と③は丸々としているのが似ているね。②には穴が空いているよ。他のこまに穴はないよね。

丸々しているといえば、⑥もそうだよ。棒の形がとがっているし、棒の幅が細いところと太いところがある。

④はどうか、こま以外に道具があるよ。それに、こまには棒が付いてない。どうやって回すのかな？

ねえ、タブレットを使って表に整理してみようよ。

しましまに色を付けているこまが多いね。①と⑥のこまの上の部分はしましまとは違う模様になっているよ。

6つのこまはどのように違いますか？自分が見付けたつくりの違いを説明し合ひましょう。

気が付いたことを話すことができれば、違いが比べられるように、表にまとめてみましょう。

どんな〇〇	①	②	③	④	⑤	⑥
名前	色がわりこま	鳴りこま	さか立ちこま	たたきこま	曲こま	ずぐり
色	赤・青	赤・青・緑	赤・黄・黒	赤・黄・紫	赤・黒	赤・黄
大きさ	大	大	小	小	大	大
形	平ら	太い丸	小さい丸	とがり丸	平ら	太い丸

「どんな〇〇」に入る言葉を相談しながら表にまとめてみましょう。どんな表が作れますか？

みなさんが考え出した「どんな〇〇」にあてはめた言葉は、比べる手がかりになる言葉ですね。

次回からは本文を読んでいきます。

どんな〇〇	①	②	③	④	⑤	⑥
名前	色がわりこま	鳴りこま	さか立ちこま	たたきこま	曲こま	ずぐり
もよう	三角	しま	しま	しま	しま	しま・山
形	平ら	丸々	丸々	とがり	平ら	丸々
ぼう	短い	短い・太い	短い	ない	長い・細い	短い・太い
その他		あな		道具		

どんな〇〇	①	②	③	④	⑤	⑥
名前	色がわりこま	鳴りこま	さか立ちこま	たたきこま	曲こま	ずぐり
色	赤・青	赤・青・緑	赤・黄・黒	赤・黄・紫	赤・黒	赤・黄
大きさ	大	大	小	小	大	大
形	平ら	太い丸	小さい丸	とがり丸	平ら	太い丸

僕たちの班では「どんな〇〇」のところに「もよう、形、ぼう」の言葉を入れました。

私たちの班では「どんな〇〇」のところに「色、大きさ、形」の言葉を入れました。

どんな名前？どんな模様？どんな形？どんな棒？
 「どんな〇〇」これは、比べるときに使える見方だね。

本時における「深い学び」を具現する仕掛けや発問

□ 本時は第3学年の説明文「こまを楽しむ」を読み始める前の学習として設定している。写真を見比べ、表に整理する活動を通して、情報の扱い方に関する事項である「比較や分類の仕方の理解」を促すことをねらっている。この理解を経て本文を読むことで、筆者の説明する「こまのつくり」に関する言葉にこだわって読み進めさせることができる。このことは、目的を意識して、語や文を読み取る力を養うことにつながる。(視点P→視点⑫)